

原料費調整制度に基づく2023年3月検針分のガス料金について

(群馬南地区)

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2023年3月検針分の単位料金を調整した結果、2023年2月検針分と比べ、1m³ (45MJ)につき3.09円 (消費税込) 下方に調整いたします。

なお、2023年2月検針分より、経済産業省の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」^{*1}にて支援される補助金により、30円/m³の値引きを行っております。

これにより、1ヵ月に34m³のガスをお使いになる標準家庭で2023年2月検針分と比較して、105円 (消費税込) ガス料金が下がります。なお、経済産業省の補助金適用前との比較では、1,020円 (消費税込) ガス料金が引き下げられています。

2023年3月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

*1 詳細は資源エネルギー庁「電気・ガス料金激変緩和対策特設サイト」 (<https://denkigas-gekihenkanwa.go.jp/general/>) をご覧ください。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Cの各料金が適用されます。

(消費税込)

1ヵ月のご使用量	料金表A 0～22m ³	料金表B 23～223m ³	料金表C 224m ³ ～
基本料金 (円/月)	759.00	924.00	2,574.00
調整単位料金 (円/m ³)	125.48	118.11	110.74
(参考) 補助金適用前 調整単位料金 (円/m ³)	155.48	148.11	140.74
(参考) 2月 調整単位料金	128.57	121.20	113.83

2. 標準家庭における影響

(消費税込)

1ヵ月のご使用量 34m ³ (45MJ/m ³)	2023年 2月 ^{*2}	2023年 3月 ^{*2}	増減
適用料金(円/月)	5,044	4,939	▲ 105

【参考】補助金適用前

2023年 3月 適用料金	補助金適用 前後の差
5,959	1,020

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2012年度～2016年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円(消費税込)を差し引いた金額となります。

*2 補助金適用により、30円/m³値引きされています。

3. 原料価格の変動

(円/t)

	2022年9月～2022年11月 の平均 (2月検針分)	2022年10月～2022年12月 の平均 (3月検針分)	対前期 差額
平均原料価格(a)	70,690	65,990	▲ 4,700
LNG	152,010	141,670	▲ 10,340
LPG	96,760	93,300	▲ 3,460
基準平均原料価格(b)	27,350		
差額(a-b)	43,300	38,600	▲ 4,700

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} &= & \frac{141,670}{93,300} \times 0.4414 \\
 & \text{+LPG平均原料価格(貿易統計値)} &= & \frac{93,300}{93,300} \times 0.0371 \\
 & &= & \frac{65,994.56}{100} \text{円/t} \\
 & & & \downarrow (100円未満四捨五入) \\
 & &= & 65,990 \text{円/t}
 \end{aligned}$$

■原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 & 65,990 \text{円/t} - 27,350 \text{円/t} &= & 38,640 \text{円/t} \\
 & & & \downarrow (100円未満切捨て) \\
 & &= & 38,600 \text{円/t}
 \end{aligned}$$

■単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定 (補助金適用前)

$$\begin{aligned}
 & \text{単位料金調整額} &= & \frac{38,600 \text{円}}{100 \text{円} \times 0.0858^{*3}} \\
 & \text{(補助金適用前)} &= & 33.11 \text{円}^{*4}
 \end{aligned}$$

*3 変動額100円につき単位料金を0.0858(0.078×1.1)円調整します。

*4 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

■単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定 (補助金適用後)

$$\begin{aligned}
 & \text{単位料金調整額} &= & 33.11 \text{円} - 30 \text{円} = 3.11 \text{円} \\
 & \text{(補助金適用後)} & &
 \end{aligned}$$

<標準家庭における影響>

	(消費税込)		
1ヵ月のご使用量 34m ³ (45MJ/m ³)	2023年2月 ^{*2}	2023年3月 ^{*2}	増減
適用料金(円/月)	5,044	4,939	▲ 105

【参考】補助金適用前

2023年3月 適用料金	補助金適用 前後の差
5,959	1,020

・標準家庭料金の計算方法

群馬南地区

$$\begin{aligned}
 & \text{本体料金(税込)} &= & \text{基本料金(924.00円)} \\
 & & + & \text{調整単位料金(115.00円} + \frac{3.11}{100} \text{円)} \times 34\text{m}^3 \\
 & & & \uparrow \text{料金改定時の基準単位料金(税込)} \quad \uparrow \text{単位料金調整額(税込)}
 \end{aligned}$$

・本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³あたりの単価)を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格(27,350円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0858円(0.078円に1.1(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。